

第30回 微生物シンポジウム

温故知新：若い世代の未来に向けてこれまでの歴史を探る

プログラムと講演要旨

期日： 2018年8月27日（月）～28日（火）

場所： 城西国際大学 紀尾井町キャンパス
東京都千代田区紀尾井町3-26 東京紀尾井町キャンパス1号棟

主催： 日本薬学会

世話人： 城西国際大学 平田 隆弘

事務局： 283-8555 千葉県東金市求名1番地
城西国際大学 薬学部 生体防御学研究室
北村昭夫
TEL：0475-53-4546（直通）
e-mail：bisei30th@jiu.ac.jp

ご挨拶

2018年の夏は、大阪北部地震、西日本集中豪雨、迷走台風、そして記録的猛暑と自然災害や気候変動に振り回される日々が続きましたが、その中で第30回微生物シンポジウム開催に向けて準備を進めて参りました。

30回という歴史のある本シンポジウムの節目にあたり「温故知新：若い世代の未来に向けてこれまでの歴史を探る～Visiting History, Learn New Field of Microbiology」というテーマを掲げ、これまで長い間、本シンポジウムの運営にもご尽力されてこられた土屋友房先生に、「微生物シンポジウム47年の振り返りと今後への展望」と題して本シンポジウムの歴史や今後の発展に向けてのお話を頂戴する機会を得ることができました。また、山口明人先生からは微生物研究の中のひとつのトピックである排出タンパク質を取り上げていただき、その構造決定から先生のライフワークともいえる排出輸送の分子的メカニズム解明に向けた挑戦と成果についてもお話を伺う予定です。ミニシンポジウムでは、細菌や真菌の病原性、感染機構から薬剤耐性を司る酵素、輸送体のはたらきまで幅広いテーマをいただけることになりました。また、本シンポジウムとしては新しい試みですが、ポスター発表の場をご用意して薬学生にも参画しやすい機会を設けさせていただきました。

特別講演からポスターまで総数30演題を通じて様々な討議をしていただき、将来の微生物研究を担う若手から経験豊富な重鎮の先生方までがともに集う、未来につながる交流の場となりましたら望外の喜びです。

平成30年 盛夏

第30回微生物シンポジウム
世話人 平田隆弘

会場へのアクセス



【鉄道利用の場合】

- 東京メトロ有楽町線 麴町駅 1 番出口より徒歩 3 分
- 東京メトロ半蔵門線・南北線 永田町駅 9 番出口より徒歩 5 分
- 東京メトロ丸の内線・銀座線 赤坂見附駅 D 出口より徒歩 8 分
- JR 中央線・総武線 四ツ谷駅より徒歩 10 分



【お車の場合】

東京紀尾井町キャンパス周辺の民間駐車場をご利用ください。

参加者へのご案内

● 受付

受付は8月27日（月）午前9時30分より会場入り口にて行います。受付にて、参加費をお支払いの上、領収書、要旨集、ネームプレートをお受け取りになり、会場にご入場ください。また、懇親会のお申し込みをされた方は併せてお支払いをお願いいたします。

● 参加費

薬学会一般会員　：事前登録（4,000円）、当日参加（5,000円）
大学院生・学部生：事前登録（1,000円）、当日参加（1,500円）
非会員　　　　　：事前登録（5,000円）、当日参加（6,000円）

28日（火）のみ参加　：当日参加（2,000円）

● 懇親会費

薬学会一般会員、非会員（4,000円）
大学院生・学部生（2,000円）

● 昼食

1号館地下のカフェテリアや、会場周辺のお食事処をご利用ください。
事務局でのお弁当は予定しておりません。

● ドリンクコーナー

会場後方に設置する予定です。セルフサービスでご利用ください。

● 単位修得

本シンポジウムの参加者は、日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師制度認定の受講シールを習得することができます。ご希望の方は、両日ともに氏名・所属を記帳いただき、受付にて受講シールをお受け取りください。修得単位は、1日目4単位、2日目2単位の合計6単位となっております。

● 懇親会

懇親会を8月27日（火）18:30より弘済会館（東京都千代田区麴町5-1）の4F 椿の間にて行います。セッション終了後、個々に移動していただきます。（会場より徒歩5分）

● 第30回 微生物シンポジウムホームページ

<http://www.est.hi-ho.ne.jp/bisei30th/index.html>

講演について

口頭発表

- 全ての講演は、液晶プロジェクター（D-Sub 15 pin）を用いたデジタルプレゼンテーションにて行います。演者の方は、発表データを保存した PC 本体を、発表セッション開始前の休憩時間までに、会場の「PC 受付」までお持ちください。同時に、PC の接続をご確認ください。また、発表中の PC の操作はご自身でお願い致します。
- PC 本体持参に際しては AC アダプターを必ずご持参ください。Macintosh 等、変換アダプターが必要な機種をご使用の場合は必ず変換アダプターをお持ちください。
- 講演時間は以下の通りです。
一般講演：講演時間 12 分、質疑応答 3 分
一般講演では、10 分、12 分、15 分に予鈴がそれぞれ 1 回、2 回、3 回ずつ鳴ります。
- 次演者は、会場最前列の次演者席に講演 15 分前までにご着席ください。
- 予期せぬトラブル等が発生した時に備えて、必ず発表データのバックアップファイルを USB メモリ等でご持参ください。また、予備 PC 環境（Windows 10, PowerPoint2013, 2016）を用意する予定です。

ポスター発表

- ポスター発表は、一階ラウンジで行います。27 日 11:00 頃を目安に掲示してください。発表時間中は備え付けの発表者札を身につけてください。

ポスター掲示時間 11:00～14:30

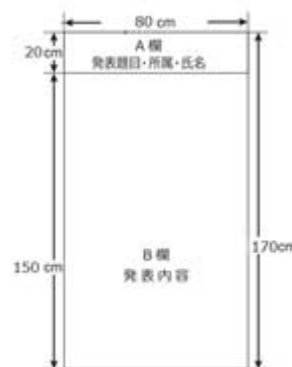
ポスター発表時間（A：奇数番号）13:10～13:50

ポスター発表時間（B：偶数番号）13:50～14:30

- ポスターは、発表時間終了後、撤去してください。また、押しピン及び発表者札は備え付けの場所に返却してください。

- ポスターボードの大きさは右図のとおりです。演題番号を確認して、指定のボードに掲示願います。

- ポスターは、上部に発表題目、所属、氏名（発表者に○印をつける）を記載し、その下方に発表内容を掲示してください。



プログラム

第1日目 8月27日(月) 午前

	開会式
10:00	世話人挨拶 平田 隆弘 (城西国際大学)
	[一般演題] 座長: 森田 雄二 (明治薬科大学)
10:05	[27AM-1] メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) の変化 — 病院内で急増する市中型 MRSA — ○中南 秀将、高玉 駿介、野口 雅久 東京薬科大学薬学部病原微生物学教室
10:20	[27AM-2] カイク感染モデルでのバンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌に対するバンコマイシンの治療効果 ○光富 修平 ¹ 、浜本 洋 ² 、垣内 力 ¹ 、関水 和久 ^{2,3} ¹ 東京大学大学院薬学系研究科 ² 帝京大学医真菌研究センター ³ ゲノム創薬研究所
10:35	[27AM-3] 結核菌遺伝子型別法の結核菌と BCG の鑑別への応用 安田 直美 ¹ 、若林 靖貴 ¹ 、宮林 亜希子 ² 、前田 伸司 ^{1,3} 、藤原 永年 ⁴ 、大角 晃弘 ⁵ 、 山本 三郎 ⁶ 、○瀧井 猛将 ^{1,7} ¹ 結核予防会結核研究所 抗酸菌部、 ² 結核予防会結核研究所 生体防御部、 ³ 北海道科学大学 薬学部、 ⁴ 帝塚山大学 現代生活学部、 ⁵ 結核予防会結核研究所 臨床疫学部、 ⁶ 日本 BCG 研究所、 ⁷ 名古屋市立大学大学院 薬学研究科
	休憩 (ポスター掲示)
	[一般演題] 座長: 土屋 孝弘 (大阪薬科大学)
11:00	[27AM-4] UC モデルマウス病態増悪能を示す <i>Paraclostridium bifermentans</i> の新規亜種の提案 ○久綱 僚 ¹ 、林 将大 ^{2,3} 、富田 純子 ¹ 、秋山 徹 ⁴ 、森 浩二 ⁵ 、森田 雄二 ⁶ 、田中 香お里 ^{2,3,7} 、河村 好章 ¹ ¹ 愛知学院大学大学院薬学研究科微生物学研究室、 ² 岐阜大学科学研究基盤センター嫌気性菌研究分野、 ³ 岐阜大学微生物遺伝資源保存センター、 ⁴ 国立国際医療研究センター研究所感染症制御研究部、 ⁵ 製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター、 ⁶ 明治薬科大学感染制御学講座、 ⁷ 岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科医療情報学分野
11:15	[27AM-5] 機能性糖脂質による緑膿菌のムチン層透過抑制メカニズムの解析 ○林 直樹、古江 由依、甲斐 大智、山田 倫暉、小田 真隆 京都薬科大学・薬学部・微生物・感染制御学分野

11:30	<p>[27AM-6]</p> <p><i>Acinetobacter baumannii</i> は好中球感染防御機構を回避する</p> <p>~好中球接着抑制を介した neutrophil extracellular traps (NETs) 形成阻害~</p> <p>○鴨志田 剛、上田 たかね、永川 茂、西田 智、祖母井 庸之、斧 康雄</p> <p>帝京大学 医学部 微生物学講座</p>
-------	---

プログラム

第1日目 8月27日(月) 午後

	[ポスター演題]
	ポスター掲示時間 11:00～14:30 ポスター発表時間 (A: 奇数番号) 13:10～13:50 ポスター発表時間 (B: 偶数番号) 13:50～14:30
A	[27P-1] 松由来天然化合物を用いたグラム陽性菌バイオフィーム形成阻害効果 ○中村 美悠、山田 陽一、坂本 早加、南菌 淳、塩田 澄子 就実大学・薬学部
B	[27P-2] 津山中央病院から臨床分離された市中感染型 MRSA の性状解析 ○小林 美穂 ¹ 、山田 陽一 ¹ 、阿山 未来 ¹ 、和田 朋子 ² 、杉山 哲大 ² 、塩田 澄子 ¹ ¹ 就実大学・薬学部、 ² 津山中央病院・薬剤部
A	[27P-3] 16員環マクロライド抗生物質 rosamicin の生合成経路の改変による生産物質と抗菌活性 ○飯坂 洋平、福本 敦、安齊 洋次郎 東邦大学・薬学部
B	[27P-4] 放線菌培養液をシードとした quorum sensing 阻害剤の探索 ○福本 敦、飯坂 洋平、安齊 洋次郎 東邦大学・薬学部
A	[27P-5] サルモネラにおける薬剤排出ポンプ MacAB 阻害剤の探索 ○山岸 亜美 ¹ 、山崎 聖司 ² 、西野 邦彦 ² ¹ 大阪大学大学院・薬学研究科、 ² 大阪大学産業科学研究所
B	[27P-6] Bam 複合体を標的とした多剤耐性 <i>Acinetobacter baumannii</i> に対する新規抗菌物質の開発 ○清水 宏太郎 ¹ 、橋本 香緒梨 ¹ 、小山 佑輔 ¹ 、大塚 佳奈 ¹ 、土屋 孝弘 ¹ 、宮本 勝城 ¹ 、 良原 栄策 ² 、辻坊 裕 ¹ ¹ 大阪薬科大学 微生物学研究室、 ² 東海大 医学部 臨床検査学
A	[27P-7] <i>Vibrio vulnificus</i> の致死性毒素 RtxA1 毒素の解析 ○柏原 愛唯、腕野 陽子、小豆畑 浩志、内田 絢子、土屋 孝弘、宮本 勝城、辻坊 裕 大阪薬科大学 微生物学研究室

B	<p>[27P-8]</p> <p>プロポリス含有成分の Th17 細胞分化調節作用について</p> <p>○岡本 能弘¹、齋藤 梨古¹、谷 央子²、木村 友香²</p> <p>¹千葉科学大学・薬学部、²(株)山田養蜂場本社</p>
A	<p>[27P-9]</p> <p>Biofilm 形成に関わる <i>dgcT(ycdT)</i> 導入株大腸菌の Polymyxin B 感受性増大</p> <p>○根津 朋実、稲垣 孝規、北村 昭夫、平田 隆弘</p> <p>城西国際大学薬学部生体防御学研究室</p>
B	<p>[27P-10]</p> <p>複数回膜貫通領域を持つ c-di-GMP 合成酵素 DgcE (YegE) の GFP 融合体を用いた菌体膜上の局在観察—増殖環境が与える影響の検討—</p> <p>○川鍋 亮介、遠藤 佳和、北村 昭夫、平田 隆弘</p> <p>城西国際大学薬学部生体防御学研究室</p>
	休憩
	[一般演題] 座長：山田 陽一 (就実大学)
14:45	<p>[27PM-1]</p> <p>ウイルス転写因子 K-RTA によるヒト IL-10 プロモーター活性化機構</p> <p>○野口 耕司、宮澤 雅典、片山 和浩、杉本 芳一</p> <p>慶應義塾大学 薬学部 化学療法学講座</p>
15:00	<p>[27PM-2]</p> <p>センダイウイルス C タンパク質による ESCRT 機構を利用したウイルス粒子出芽促進機構の解析</p> <p>○小田 康祐¹、吉元 玲子¹、的場 康幸²、川端 涼子¹、入江 崇¹、坂口 剛正¹、</p> <p>¹広島大学・医学部、²安田女子大学・薬学部</p>
15:15	<p>[27PM-3]</p> <p>ポリオワクチンと GAPIII</p> <p>○染谷 雄一、清水 博之</p> <p>国立感染症研究所・ウイルス第二部</p>
15:30	<p>[27PM-4]</p> <p>黄色ブドウ球菌 α 毒素は Fc ϵ RI クロスリンク、イオノフォア、δ 毒素によるマウスマスト細胞からの脱顆粒を促進する</p> <p>林知仁¹、○伊藤佐生智¹、森川ありさ¹、辻勉²、肥田重明¹</p> <p>¹名古屋市立大学・薬学部、²星薬科大学・薬学部</p>
	休憩

	[特別講演1] 座長：辻坊 裕（大阪薬科大学 名誉教授）
16:00	微生物シンポジウム 47年の振り返りと今後への展望 ○土屋 友房 岡山大学名誉教授、前立命館大学薬学部教授
	休憩
	[特別講演2] 座長：関水 和久（帝京大学医真菌研究センター 教授）
16:50	異物排出輸送の構造的基盤 ○山口 明人 大阪大学特任教授、前大阪大学産業科学研究所所長
17:50	ご案内
18:30	懇親会（ベストアブストラクト賞表彰式を含む）

プログラム

第2日目 8月28日(火) 午前

	[一般演題] 座長：小田 真隆（京都薬科大学）
9:00	[28AM-1] ヘムを解毒する病原菌由来 ABC 排出ポンプの機能と構造 ○中村 寛夫 ¹ 、久野 玉雄 ¹ 、白水 美香子 ¹ 、ムハマド マフザー ラフマン ² 、城 宜嗣 ² ¹ 理化学研究所・生命機能科学研究センター、 ² 兵庫県立大学・理学部
9:15	[28AM-2] 大環状 bis(bibenzyl)化合物 riccardin C 類似体の抗菌活性と作用機構の解析 ○森田 大地 ^{1,2} 、澤田 紘実 ² 、小川 和加野 ³ 、宮地 弘幸 ⁴ 、黒田 照夫 ^{1,2} ¹ 広島大院・医歯薬保健学、 ² 岡山大院・医歯薬総合、 ³ 第一薬大、 ⁴ 東京大・創薬機構
9:30	[28AM-3] 13 価肺炎球菌結合型ワクチン導入以後に顕在化した無莢膜型肺炎球菌の特徴 ○輪島 丈明、石川 春奈、鈴木 詩織、中南 秀将、野口 雅久 東京薬科大学薬学部 病原微生物学教室
	休憩
	[ミニシンポジウム] 次代を担う若手の微生物研究 座長：黒田 照夫（広島大学）、塩田 澄子（就実大学）
10:00	[MS-1] 病原性制御機構をターゲットとした緑膿菌感染症治療の試み ○木村 聡一郎、舘田 一博 東邦大学・医学部・微生物感染症学講座
10:30	[MS-2] 尿路病原性大腸菌(UPEC)の膀胱上皮細胞内における IBC 形成機構 ○平川 秀忠 ¹ 、富田 治芳 ^{1,2} ¹ 群馬大学大学院医学系研究科、 ² 群馬大学大学院医学系研究科附属薬剤耐性菌実験施設
11:00	[MS-3] 病原真菌の環境適応の分子機構の解明 ○中山 浩伸 鈴鹿医療科学大学薬学部
11:30	[MS-4] 細菌薬剤排出ポンプの機能と制御 ○西野 邦彦 ^{1,2} ¹ 大阪大学産業科学研究所、 ² 大阪大学大学院薬学研究科

12:00	<p>[MS-5]</p> <p>カルバペネム分解型セリンβ-ラクタマーゼの構造と分解機構</p> <p>○額賀 路嘉</p> <p>城西国際大学薬学部</p>
12:30	閉会式
	世話人挨拶 平田 隆弘 (城西国際大学)